

コウノトリ

毎週月曜日更新



# カタカタ通信

第246号

2026年9月14日

## 「晴と天、その後・・・」

7月に「晴」と「天」を放鳥してから約2か月が経とうとしています。

2羽にはGPSを取り付けているのですが、ホームページでもお知らせしたとおり、「天」のGPSは不具合が生じていて位置情報を取得することができていません。現在消息不明状態になっていますので、何か情報がありましたらぜひ天空の里までご一報ください！



飛び立つ前の天

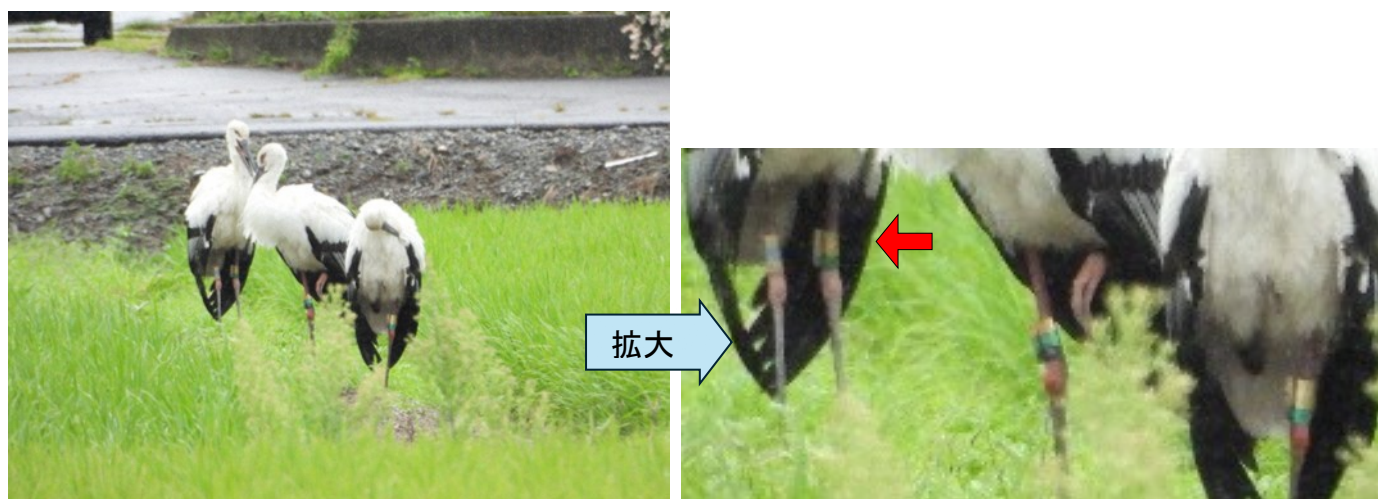


晴はというと、天空の里を飛び立ってからの数日間は鴻巣市内で過ごしていました。その後、先輩コウノトリと合流して新しい餌場まで連れて行ってもらったのか、新たに吉見町の田んぼで先輩たちと共に採食する姿が確認できました。一緒にいたのは、昨年か一昨年に生まれた、黒色の足環をつけた2羽の個体です。そこからは、熊谷市や深谷市、本庄市あたりを中心に生活をしながら、時には群馬県や茨城県、千葉県まで遠征しているようです。

最近の晴は同年代の仲間と共に生活をしています。石川県志賀町うまれの個体番号 J1120、J1121、J1122 や栃木県小山市うまれの J1133、J1134 の兄弟と共にいるところを確認しています。

もし皆さんがコウノトリを見かけたら、ぜひ足環の色を見てみてください（カメラで撮影して、拡大するといいですよ）。

「コウノトリ個体検索」というホームページでは、足環の色や番号から、その個体が「いつ・どこで生まれたのか」を調べることができます。見つけたコウノトリについてさらに詳しく知ることができるので、ぜひ調べてみてくださいね。



一番奥が晴(㊦黄・青・黄、㊤黄・黄・緑の足環)

ただし、足環を見るためにコウノトリに近づきすぎると驚かしてしまいますので、無理はせずに！適切な距離で観察してくださいね。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：こば